

MRK

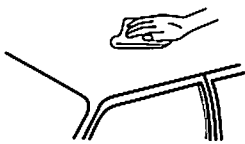
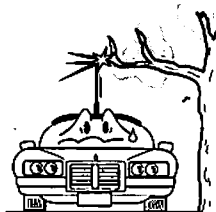
取扱説明書

DIAMOND
ANTENNA

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときに読めるようこの取扱説明書は大切に保管してください。

！ 注意

事故を防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

- ① この基台には全長1m以下、重量150g以下のステンレス製ホイップアンテナをご使用ください。
- ② 50MHz以下のアンテナは、マグネットの接地容量不足のため使用できません。また144MHz以上でも1/4λタイプなどのアンテナでは、SWRの下がりにくい場合があるので当社ノンラジアルアンテナをおすすめします。
- ③ 取付場所の塵、ホコリや油よごれをきれいに拭き取ります。汚れた面だと吸盤の密着性が悪くなり、アンテナが倒れる場合があります。
- ④ 取り付けるたびに基台が完全に吸着していることを必ず確認してください。
- ⑤ 走行中にアンテナを枝などに強くぶつけると、アンテナが倒れたり、吸着面の変形などにより、車にキズが付く場合がありますので注意してください。
- ⑥ 基台を付けたまま長時間直射日光にさらしますと、基台のところだけ変色せず、他の部分と車体の色が異なることがあります。
- ⑦ この基台を取り付けての最高速度は、向かい風などの条件を含めて時速100km程度です。

●特長

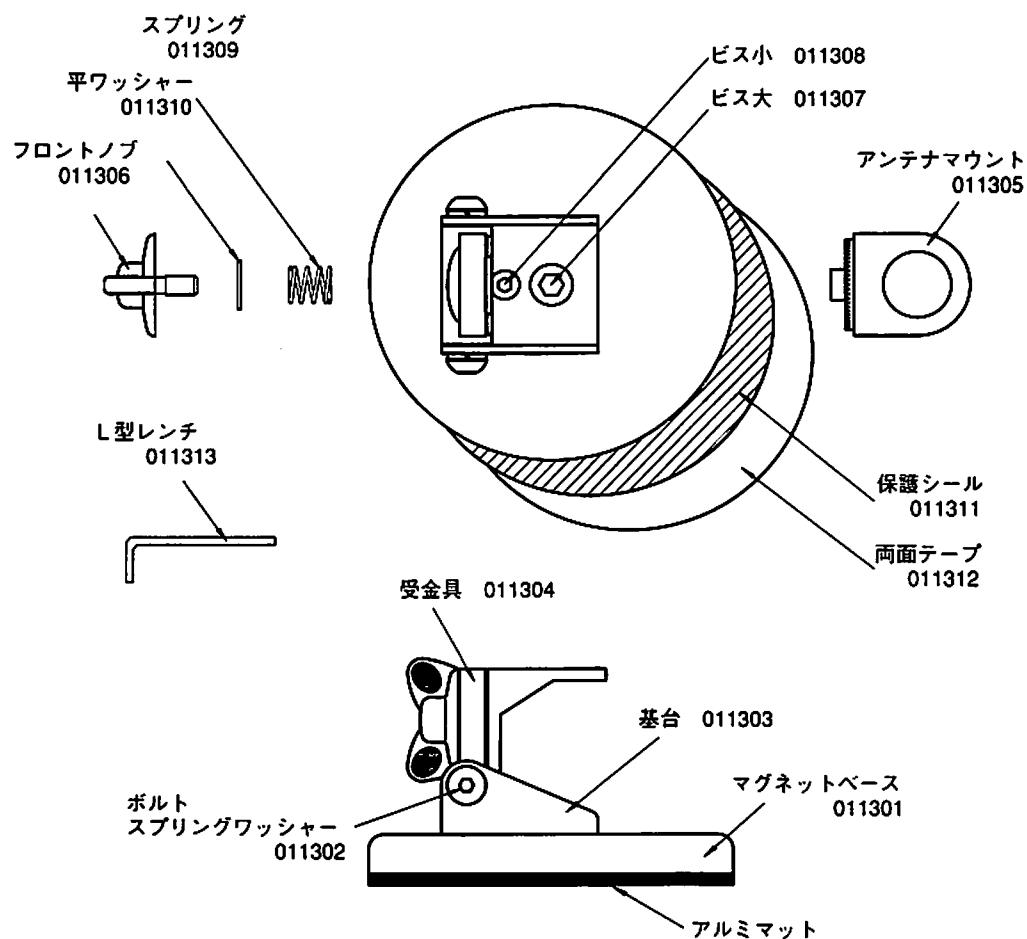
- ① 従来のマグネットベースでは出来ないアンテナの角度調整が可能です。
- ② 車のルーフトップだけでなく、側面に取り付けてお使いいただけますので、ワゴン車、トラック等に最適です。

●取付方法

- ① 基台を付ける位置を決めます。
車の屋根中央が一般的ですが、車の側面や他の場所に取り付けるときには、曲面のきつい所や、凹凸のある場所は避けてください。また、他のアンテナなどの障害物からはなるべく離してください。
- ② 取付場所が決まったら基台を仮設し、問題がないことを確認します。簡単に基台が外れてしまう場合には、曲面がきついか、ホコリなどが原因と考えられます。
- ③ マグネット基台を取り付けます。
ケーブルの配線は、同軸ケーブルを引き込んだ所から車内に水が入らないようにケーブルを一度たるませてから車内に引き込むようにしてください。
- ④ 車体側面に取り付けるときは、必ず付属の両面テープを併用して固定してください（走行中の風圧、振動での脱落防止のため）。
- ⑤ 両面テープの使用方法
 - ・ 両面テープは規定の接着強度が得られるまでに、24時間程度かかります。取り付け後すぐに走行する場合は、アンテナを取りはずしてください。
 - ・ 一度貼り付けてはがした両面テープは、接着強度が落ちます。事故につながりますので絶対に使用しないでください。
 - ・ 一度貼り付けるとやり直しできません。取り付け前の確認を十分に行ってください。
 - ・ 両面テープを使用した場合、簡単に取り付け、取り外しが出来ません。もし、取り外す場合は、マグネットベースと両面テープとの間にカッターナイフ等の刃を入れながら少しずつはがします。車体へのキズ、手を切らないよう十分注意してください。
 - ・ 接着するとき貼り付け面が冷えている（摂氏20℃以下）場合は、接着強度が得られませんので、ドライヤーなどで暖めてから貼り付け作業を行ってください。

●アンテナ取付時の角度調整方法

角度調整は、中央のノブと側面のボルトにて行ってください。調整後は、ノブとボルトをしっかり締め付けておいてください。



⚠ 注意

両面テープご使用の場合、保護シールは使用しないでください。

⚠ 注意

マグネットベースと基台との取付ビス2ケ（大・小）は、ゆるめないでください。締め付けが出来なくなります。

■お買い上げいただいた製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付けください。

■本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2001年11月 初版発行
第一電波工業株式会社